

2006年
10月1日
No.5

さざなみ

〒520-0043
大津市中央1丁目5-25
小堀マンション2030号室
さざなみネット
(全国金融一般労働組合滋賀支部)
TEL・FAX 077-522-7868

金融3単産の組織合同を力に 仲間の要求実現と金融労働運動の新たな前進を!

私たちが加盟している地銀連、第2地方銀行を中心とした仲間が加盟している銀行労連、信用金庫・信用組合の仲間が加盟している全信労の金融3単産による組織合同大会が9月17日から18日、東京の「日本青年会館」で開かれ、全国金融労働組合連合会(金融労連)を結成しました。北海道から沖縄までの金融機関の労働組合の代議員など123名が集まりました。全国金融一般労働組合からは、鈴木委員長、山崎書記長、浦谷執行委員が参加しました。

この金融労連第1回定期全国大会では、組織合同準備会を代表して地銀連の谷一明委員長があいさつし、「行政の規制緩和・自由化政策で、業態の垣根はなくなりつつあり、業態、県を越えた合併・再編成が進んでいます。業態・規模に違いはあっても地域に根ざし、地域に役立つ金融機関をめざすのは共通の課題」と強調。国の金融施策の転換をめざし、利用者と幅広い金融労働者の期待に応える組織発展を呼びかけました。

新委員長に選出された松木静雄氏はあいさつで、「それぞれの単産が50年にわたる長い歴史のなかで教訓を持っている。その知恵を新しい組合に入れ、合同してよかったと言われる組合をつくっていききたい」とのべました。運動方針の提案で田畑俊郎書記長は、地域金融機関の社会的責任と役割の発揮で地域経済を守り発展させることや、関連企業も含めた全労働者の雇用や権利を守るとりくみを提起しました。



北海道から沖縄まで5000人の仲間がひとつに

金融に働く仲間たちがひとつになる。どんな瞬間が待ち受けているのだろうか、ドキドキして参加しました。3単産はそれぞれ結成以来50年余りの歴史があり独自の運動をしてきましたが、それらがひとつになり、北海道から沖縄まで5000人の仲間になりました。

多くの仲間と団結し、働くものの権利や雇用を守るとともに、地域に役立ち喜んでいただける金融機関になるように努力していきたいと思います。

金融労連として、10月14日から15日に神奈川県で女性のつどいが開かれます。多くの仲間が参加できるように頑張りたいと思います。

大会では女性が少なくて少しさびしい思いがしました。金融機関の営業店等では女性が中心になって働いています。今後女性が多く参加できるようになることを期待しています。



大会での発言

(多国籍企業・AIGグループ・AIGスター生命の解雇争議
高梨光恵さん)

嘱託事務員として勤務していま

したが、契約期間が終わったから当たり前と、雇い止めになれました。契約は非正規ですが、10年とか20年も雇用を継続してきている仲間もあり、ハローワークでは60歳定年で採用の募集をしてくれています。

労働組合はありましたが、非正規労働者には入る資格がなく、相談する所、たたかえる所がありませんでした。銀行労連の個人加盟の組合・銀産労を知り、4人で加入しました。しかし、会社は不誠実な対応で、まともに話し合いができません。

しかし、今は一緒にたたかえる組合があるということ、たたかえる場があることが幸せです。

みなさんにはこんな痛みは共有してほしくありません。こういう働かせ方は不当だという怒りを共有して欲しいと思っています。若者2人にひとり

は非正規労働者です。同じ仲間としてたたかっているようにがんばります。

